

**2014年3月期決算
中期経営計画2017
説明資料**

**2014年6月3日
株式会社やまびこ**

1. 2014年3月期		
決算概要	2
2. 2015年3月期		
業績見通し	9
3. 中期経営計画2014		
総括	13
4. 中期経営計画2017		
方針および重点施策など	17

1. 2014年3月期 決算概要

総括：国内は、公共事業関連や消費増税前の駆け込み需要により増収。
 海外は、北米の小型屋外作業機械が堅調となったことなどに加えて、為替の影響により大幅な増収。

《 市場動向 》

市場	セグメント（分野）	動向
国内	小型屋外作業機械 農業用管理機械	<ul style="list-style-type: none"> ● 政府の経営所得安定対策や消費税増税前の駆け込み需要により拡大 ● 農業機械出荷実績は前年同期比126.1%（日本農業機械工業会 統計）
	一般産業用機械	<ul style="list-style-type: none"> ● 震災復興や社会インフラ老朽化対策に加えて、第4次排出ガス規制や消費増税前の駆け込み需要により拡大 ● 建設機械出荷36カ月連続の増加（日本建設機械工業会 統計）
海外	小型屋外作業機械	<ul style="list-style-type: none"> ● 北米市場：景気が回復基調で推移 ● 中南米市場：ベネズエラ・アルゼンチン・ブラジルなど政治経済の悪影響が長期化 ● 欧州市場：長期低迷から好転の兆しが見られたが、期末にかけてのウクライナ問題によりロシア市場が不振
	農業用管理機械	<ul style="list-style-type: none"> ● 北米市場：穀物価格の下落の影響があったものの前年並みで推移

2014年3月期 経営成績



(百万円)

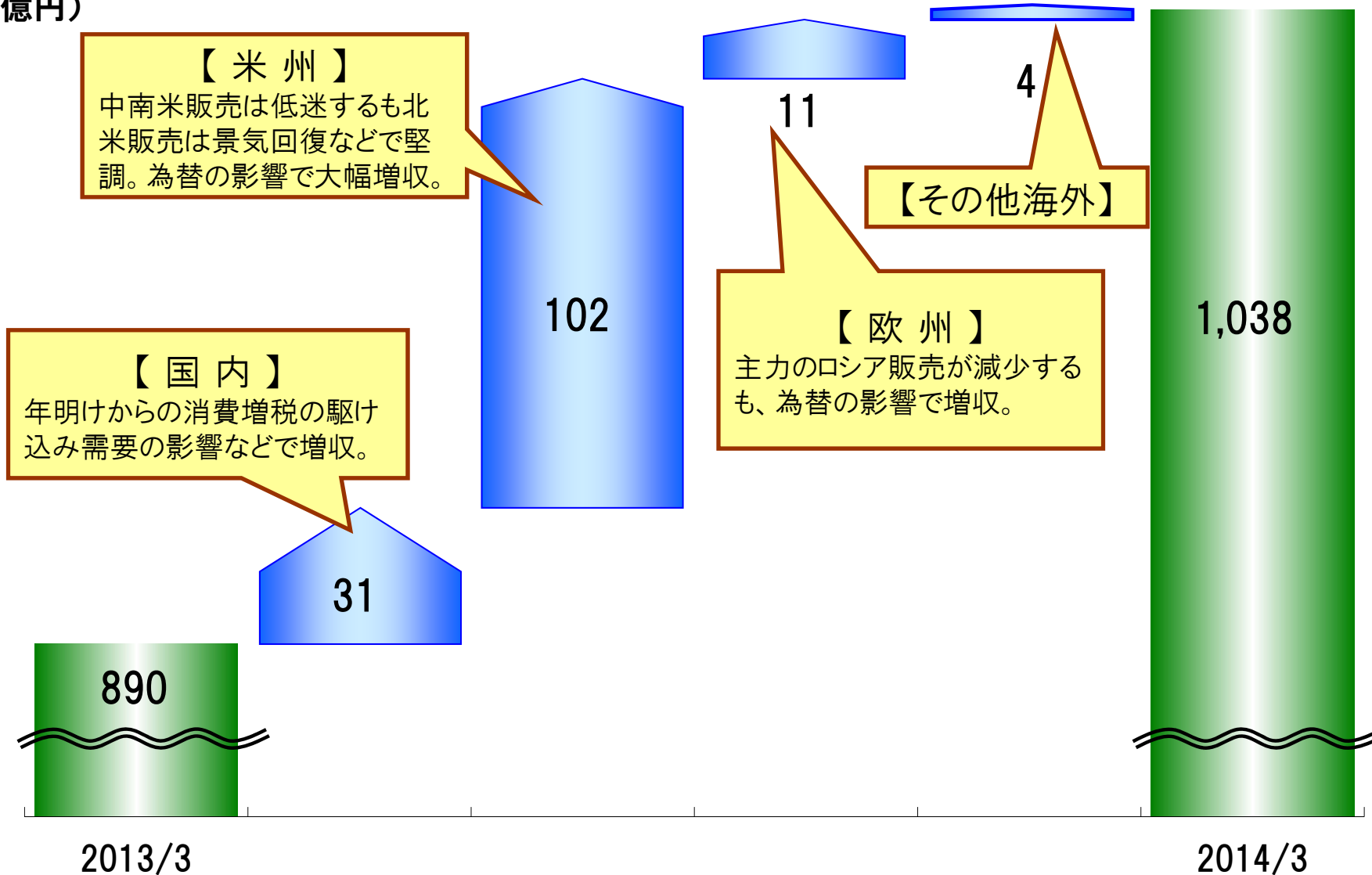
	13/3期	14/3期	前年比	
			差 額	増減率
売上高	89,045	103,848	14,803	+ 16.6 %
国内	38,623	41,764	3,140	+ 8.1 %
米州	39,869	50,027	10,157	+ 25.5 %
その他	10,552	12,056	1,504	+ 14.3 %
営業利益	2,212	5,020	2,808	+ 126.9 %
経常利益	2,955	5,715	2,760	+ 93.4 %
当期純利益	2,423	4,656	2,233	+ 92.1 %

為替レート

1ドル	当社レート	83 円	100 円	17 円	+ 20.5 %
	米国子会社 換算レート	80 円	98 円	18 円	+ 22.5 %
1ユーロ		109 円	134 円	25 円	+ 23.0 %

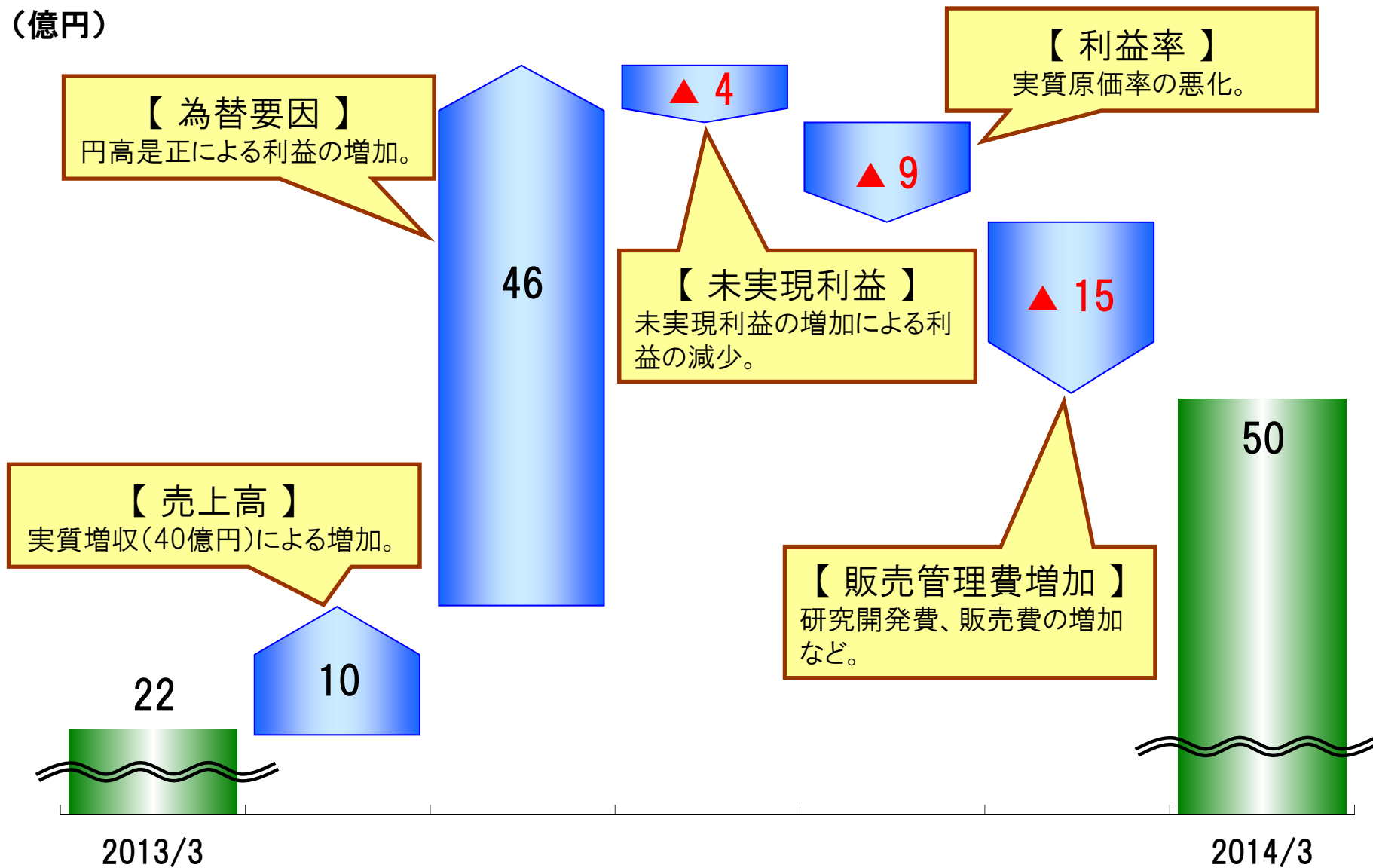
連結売上高の増減

(億円)



連結営業利益の増減

(億円)



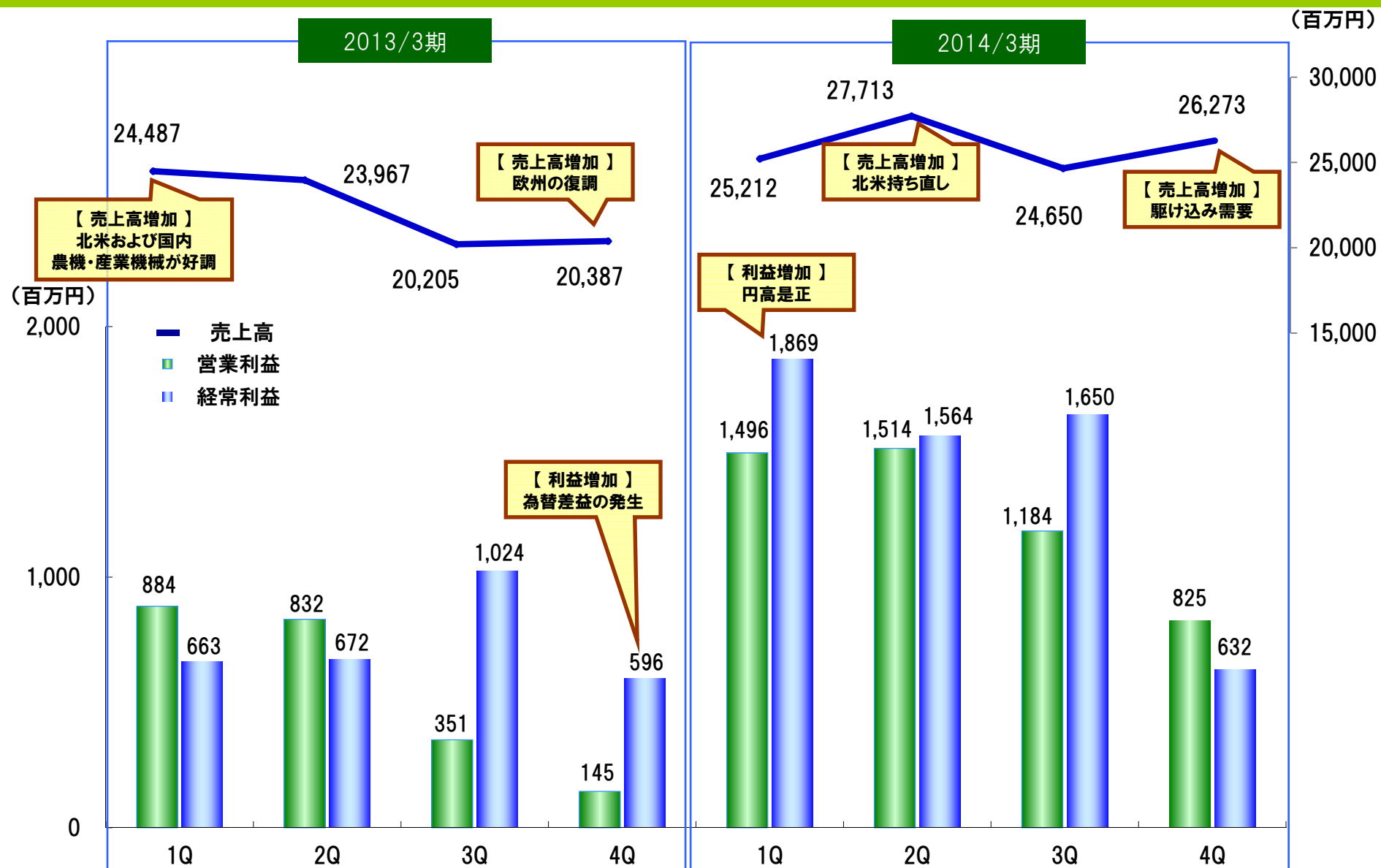
セグメント別経営成績



(百万円)

		13/3期	14/3期	前年同期比	
売上高		89,045	103,848	14,803	+ 16.6 %
	小型屋外作業機械	46,119	55,034	8,915	+ 19.3 %
	農業用管理機械	17,005	19,521	2,515	+ 14.8 %
	一般産業用機械	10,705	11,649	943	+ 8.8 %
	その他	15,214	17,643	2,428	+ 16.0 %
営業利益		2,212	5,020	2,808	+ 126.9 %
	小型屋外作業機械 ・ 農業用管理機械	▲ 172	2,500	2,672	-
	一般産業用機械	313	175	▲ 138	▲ 44.1 %
	その他	6,173	6,915	741	+ 12.0 %
	全社共通費	▲ 4,102	▲ 4,570	-	-

四半期別 業績推移



2. 2015年3月期 業績見通し

2015年3月期 予想



(百万円)

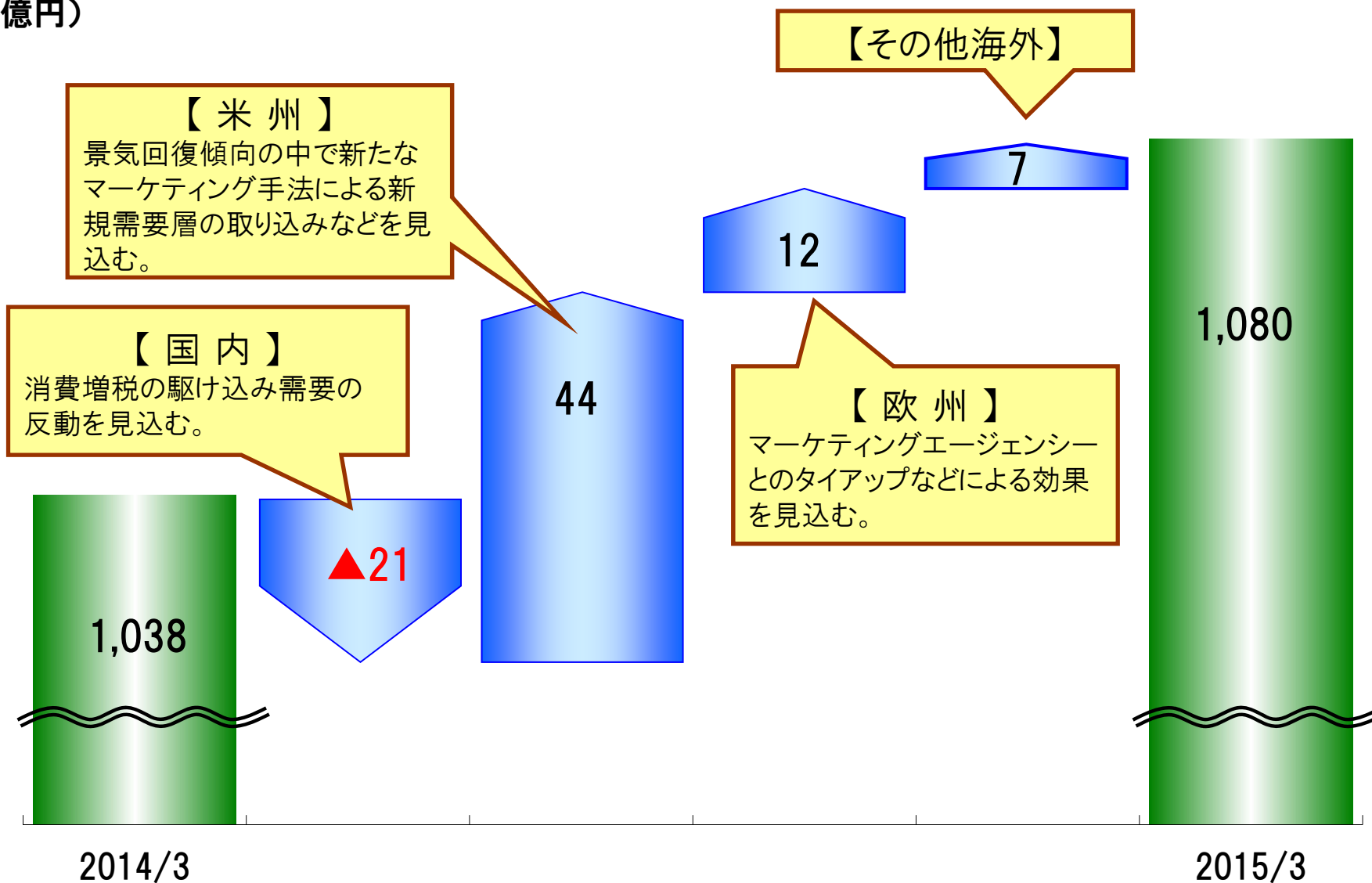
	14/3期 実績	15/3期 予想	前期比	
			差額	増減率
売上高	103,848	108,000	4,152	+ 4.0 %
国内	41,764	39,700	▲ 2,064	▲ 4.9 %
米州	50,027	54,400	4,373	+ 8.7 %
その他	12,056	13,900	1,844	+ 15.3 %
営業利益	5,020	6,000	980	+ 19.5 %
経常利益	5,715	5,800	84	+ 1.5 %
当期純利益	4,656	4,600	▲ 56	▲ 1.2 %

為替レート

1ドル	当社レート	100 円	100 円	0 円	- %
	米国子会社 換算レート	98 円	100 円	2 円	+ 2 %
1ユーロ		134 円	140 円	6 円	+ 4 %

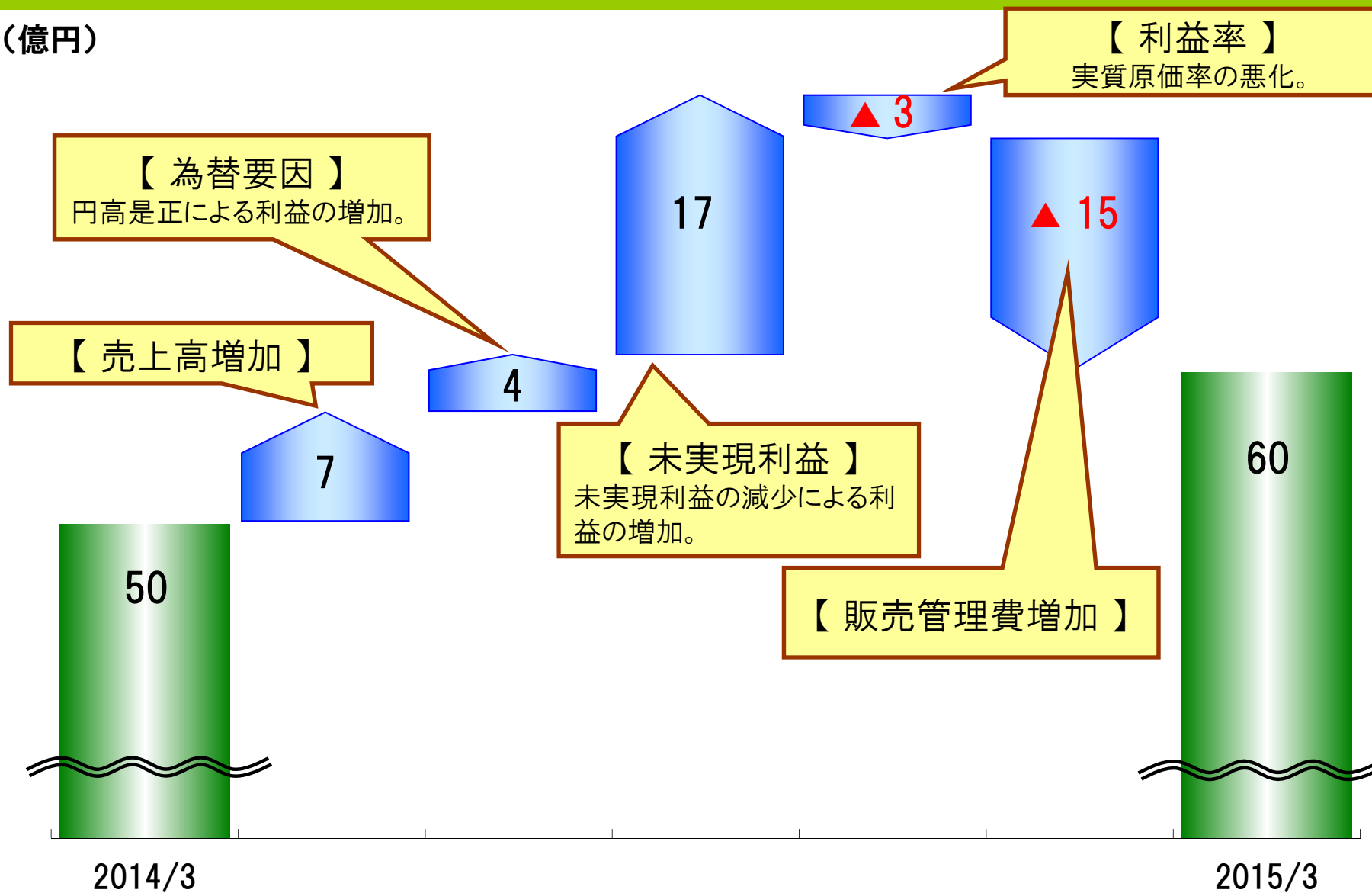
連結売上高の増減(予想)

(億円)



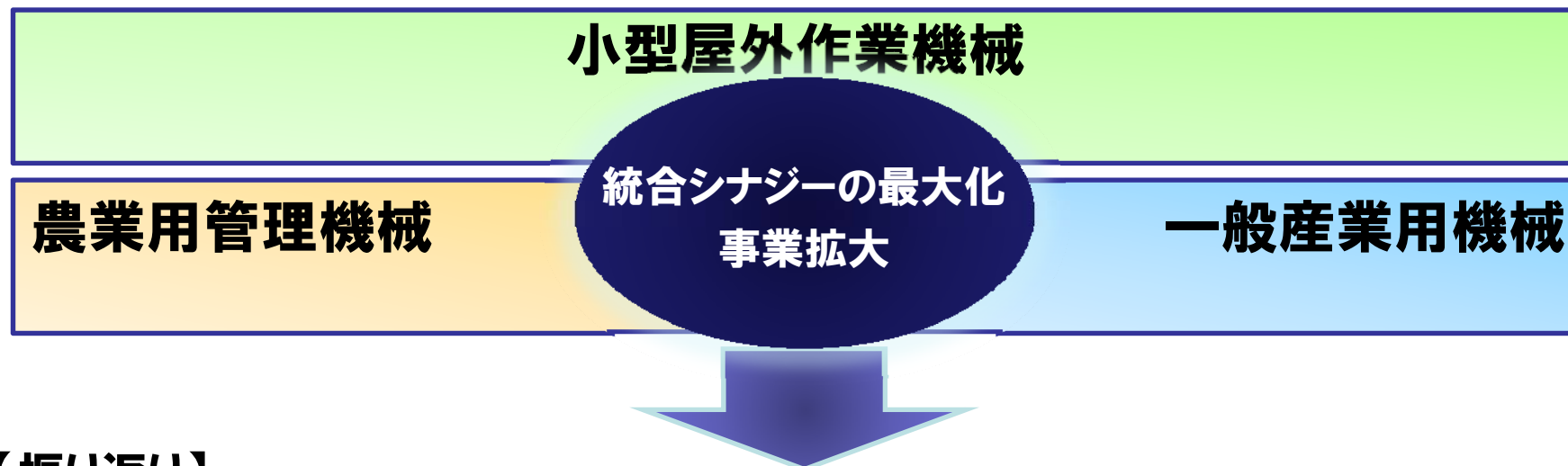
連結営業利益の増減(予想)

(億円)



3. 中期経営計画2014

総括

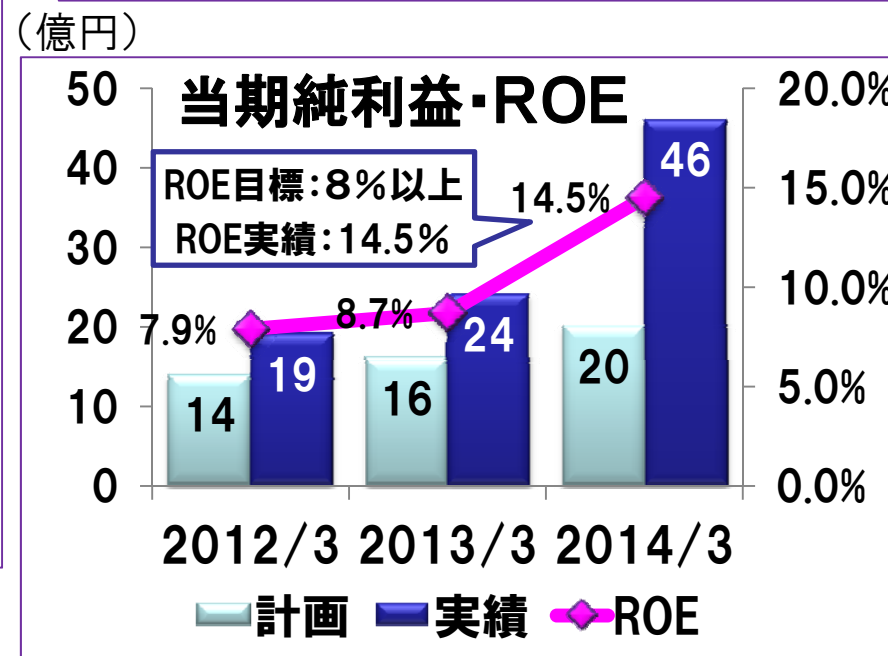
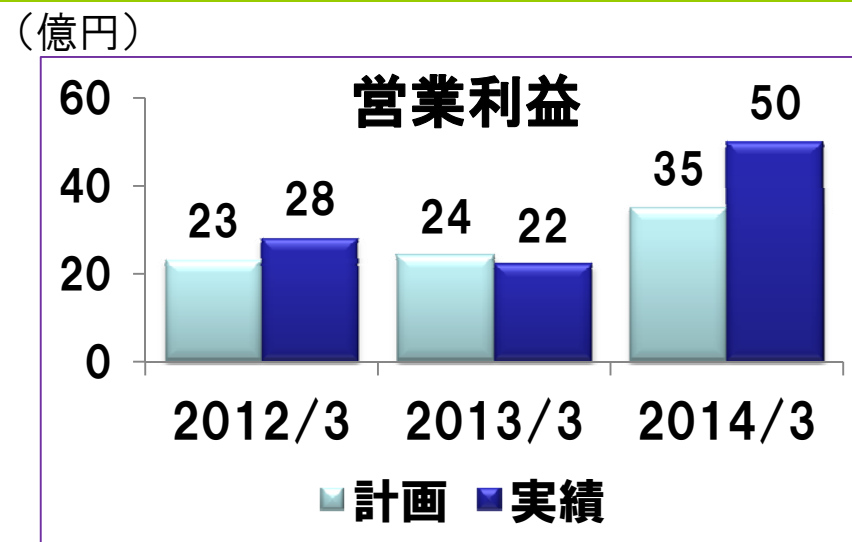


【振り返り】

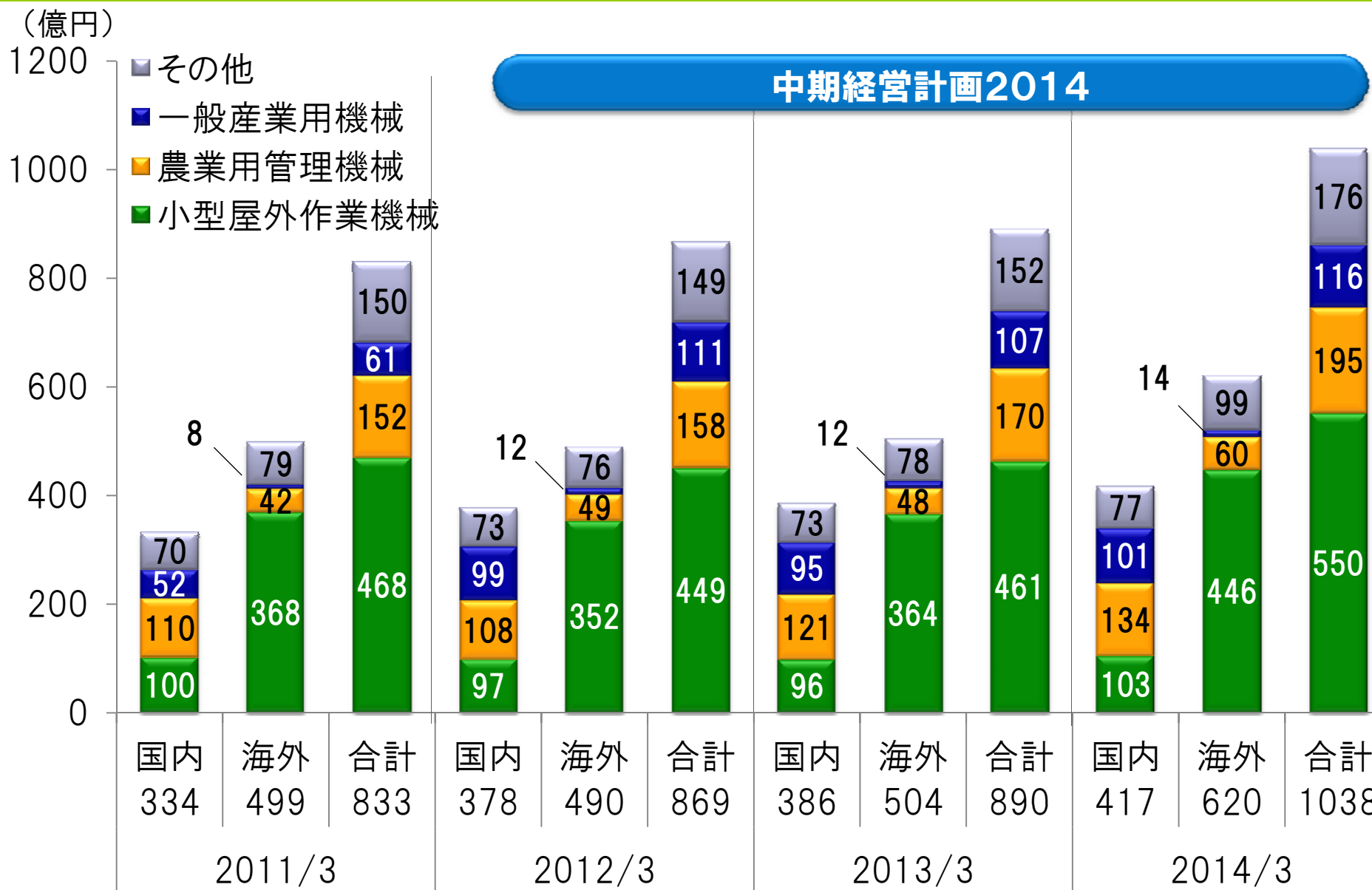
- ・ 為替の影響を受けつつも、主力事業が北米を中心に着実に伸長
- ・ 海外生産移管等の円高対応策を始め、収益構造改革が奏功
- ・ 震災復興需要等による産業機械製品の売上拡大 → 国内販売の着実な成長
- ・ 次期成長フェーズに向けた体制整備も着実に推進
- ・ 体質強化に向けて、収益力の伴った事業拡大の推進の必要性

【結果】

売上高、利益、指標とも計画を大幅に上回る



中期経営計画2014 セグメント別売上高



4. 中期経営計画2017

方針および重点施策など

経営環境

- 為替レートは現在水準を想定(1ドル=100円 1ユーロ=140円)
- 国内市場は景気拡大継続、北米・欧州市場は緩やかな景気回復
- 新興国市場は不透明

事業環境

小型屋外作業機械

- 主力市場:国内は安定、北米・欧州は市場規模拡大を見込む
- その他市場:新興国は不安定な政治・経済の動向に注視
- 安全性や排出ガスに関する規制強化

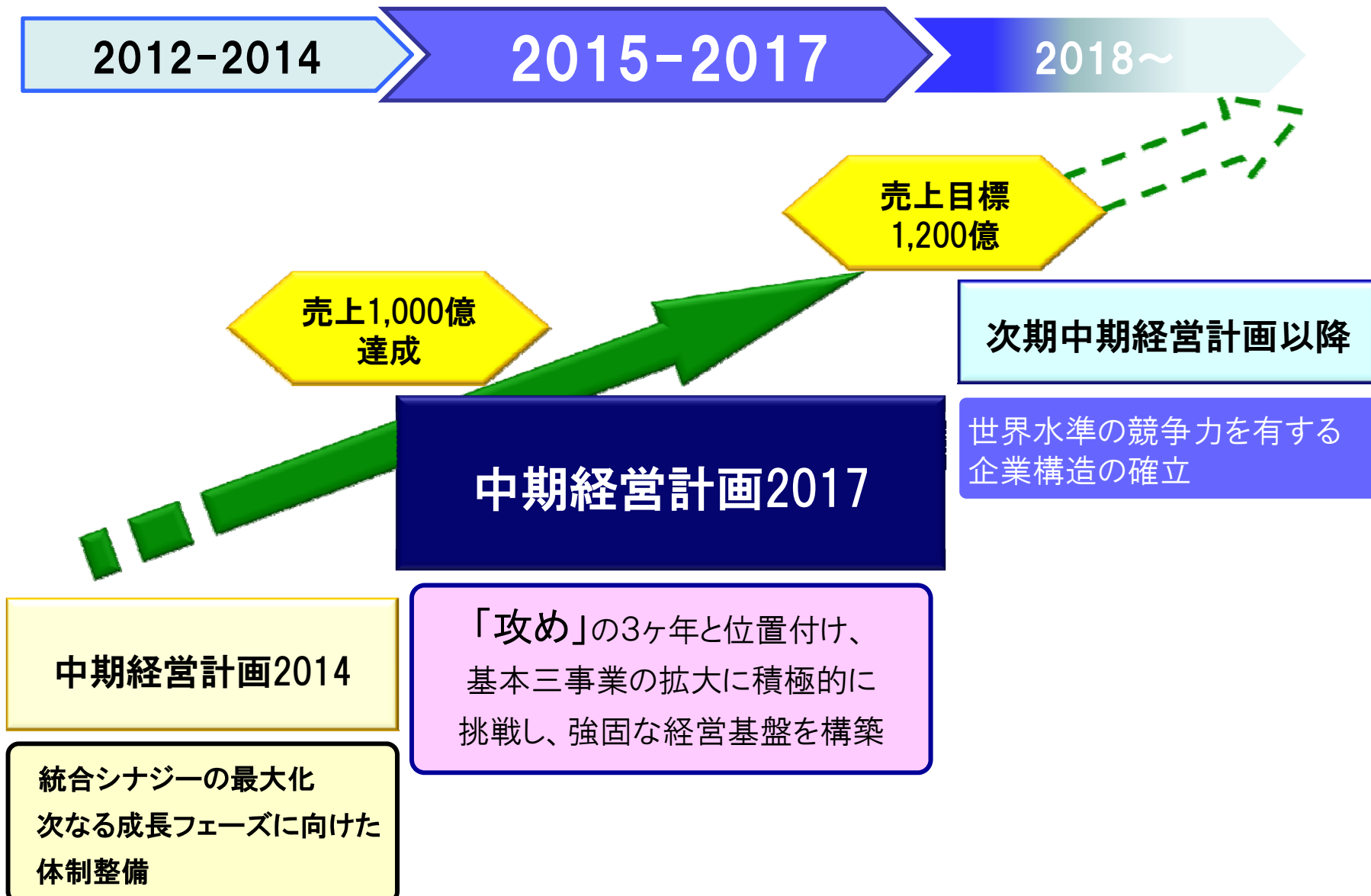
農業用管理機械

- 国内市場:農政動向に影響
- 海外市場:東南アジア市場で稲作関連を中心に農業機械需要が拡大

一般産業用機械

- 国内市場:インフラ整備需要などで堅調に推移
- 海外市場:北米・ロシア・中東の資源市場などを中心に拡大傾向

中期経営計画2017の位置付け



2017年3月期 数値計画

- 売上高 **1,200** 億円
- 営業利益 **80** 億円
- 当期純利益 **55** 億円

2017年3月期 チャレンジ目標

- 営業利益率 **7** %以上

ROE

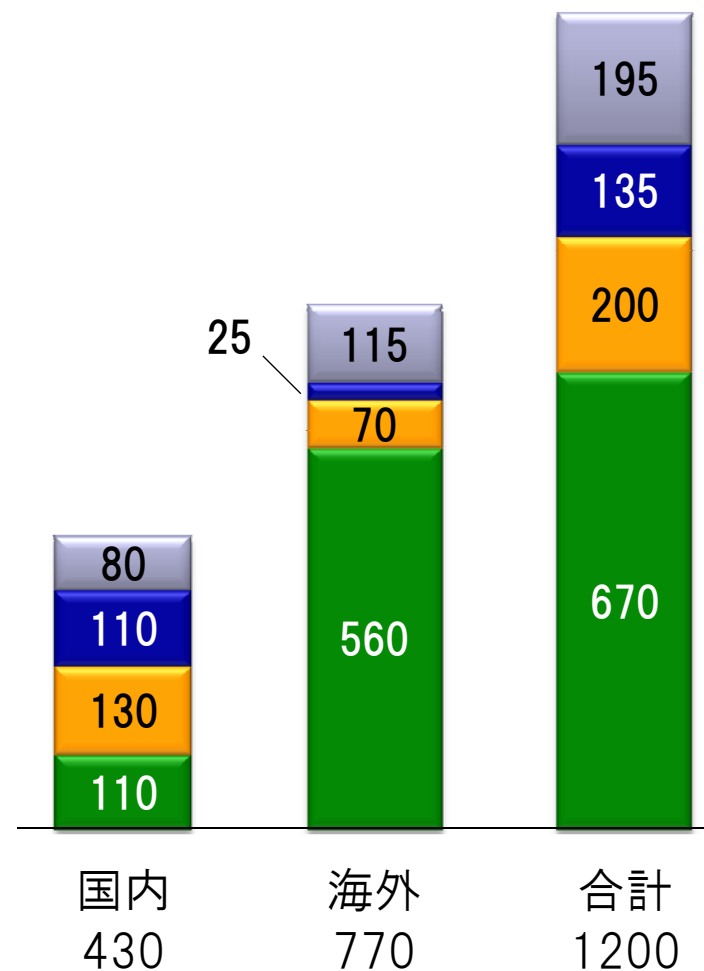
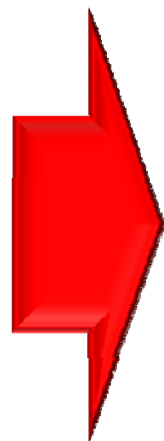
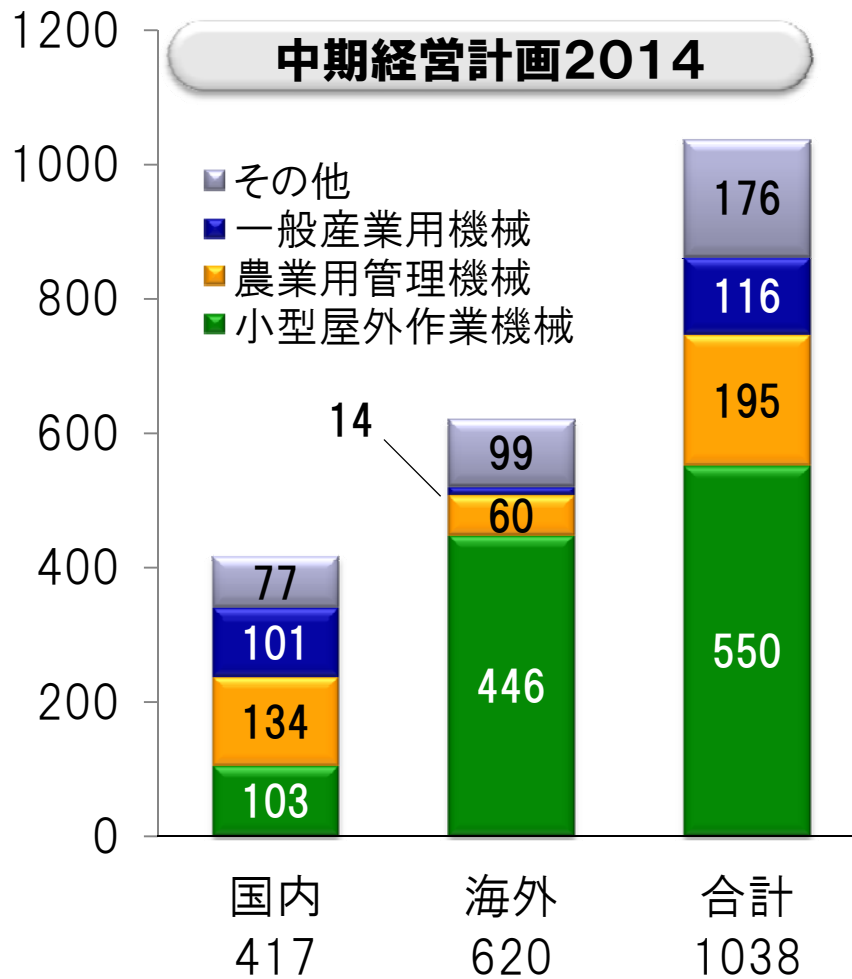
12 %以上を維持

※為替レート「1ドル=100円」「1ユーロ=140円」

セグメント別売上高

(億円)

中期経営計画2017



2014/3

2017/3

『ストラテジック・マーケティングの強化』によるシェア拡大

北米市場

1. 新たなマーケティング手法による新規需要層の発掘・創出
2. 新規販売チャネルの開拓・深耕
3. 販売促進活動の推進

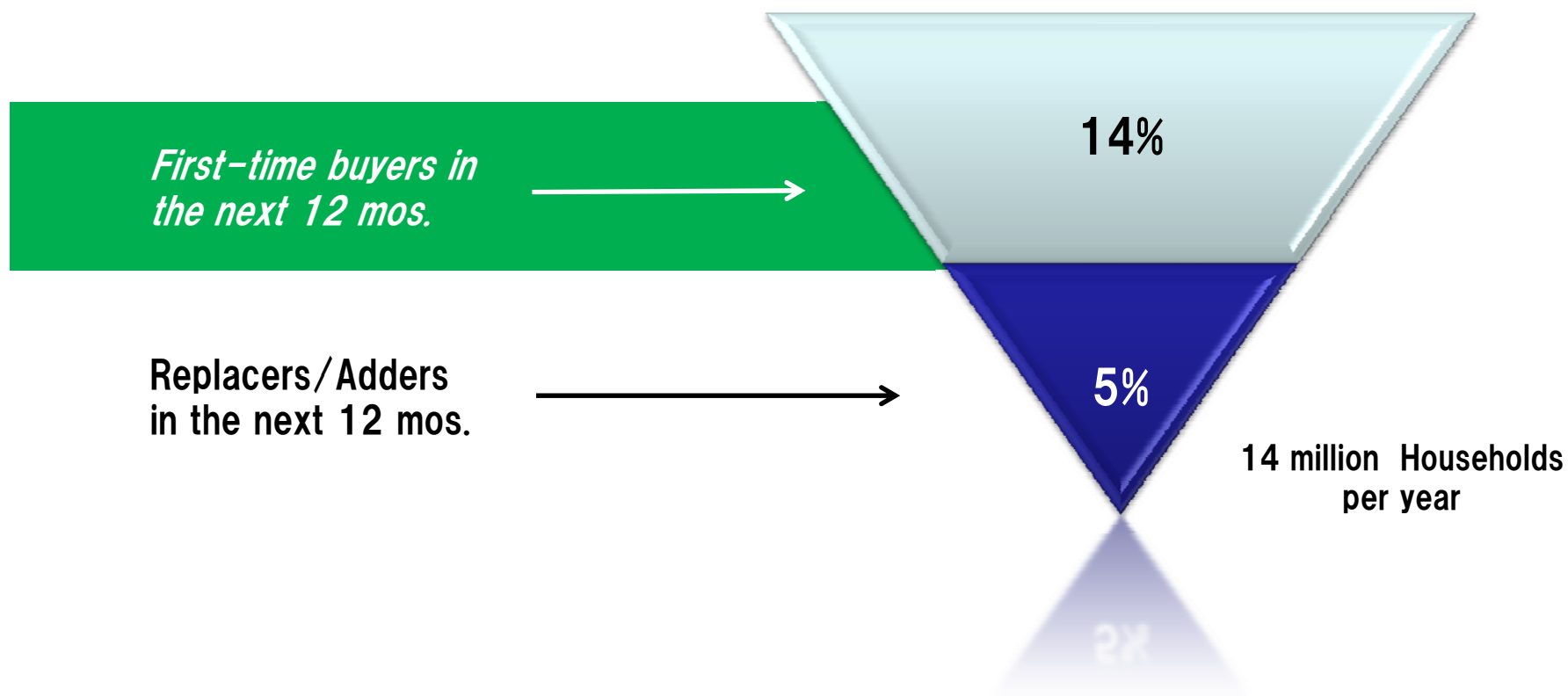
欧州市場

1. マーケティングエージェンシーとのタイアップ
2. サービス・部品供給体制の強化
3. 欧州事務所機能の強化

ブランド価値の向上

1. 新たなマーケティング手法による新規需要層の発掘・創出

➤ ファーストタイムバイヤーへの訴求

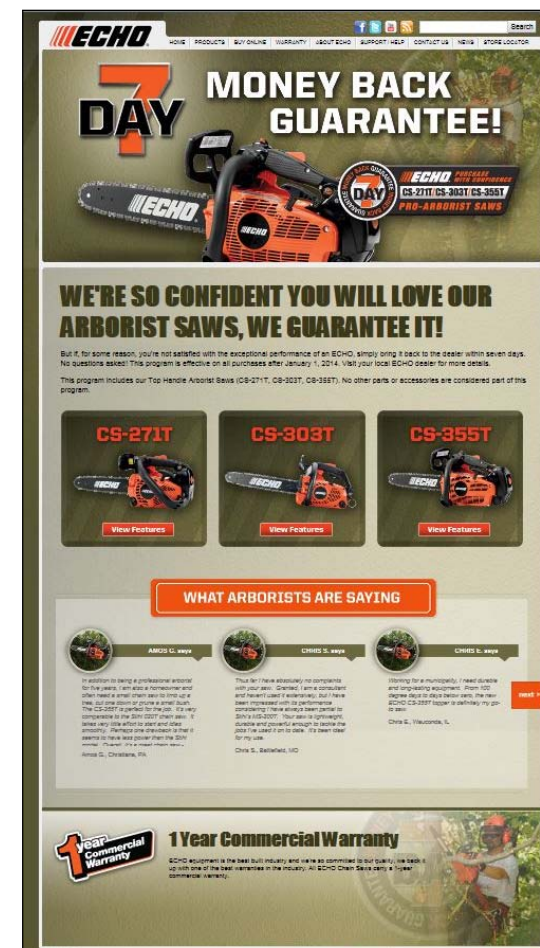
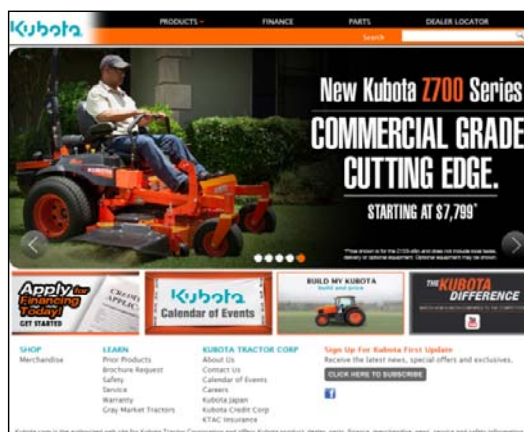
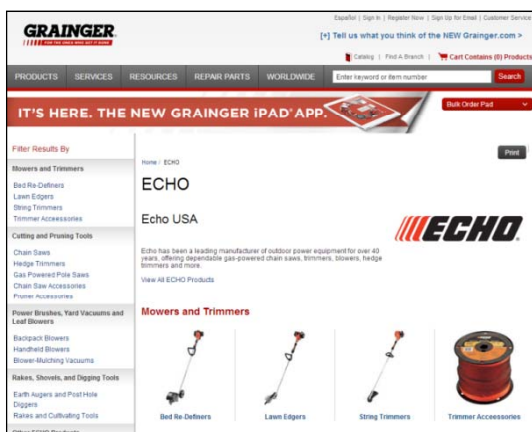


主な重点施策 ～ 小型屋外作業機械(北米)



2. 新規販売チャネルの開拓・深耕

- 通信販売(Grainger、Home Depot)の充実
- クボトラルートへの販売開始



3. 販売促進活動の推進



1. マーケティングエージェンシーとのタイアップ

▶ 販促ツール制作など(カタログ・ビデオ・店頭ポップ・サイン等)

イメージ写真



2. サービス体制の強化

▶ 「ワランティ期間延長」サービスの適用対象地域拡大



3. 欧州事務所機能の強化

▶ 代理店のサービス力向上

- 市場競争力のある新製品の開発・投入
- 防除機のアジアを中心とした海外進出

国内市場

1. 農業機械のIT化(GPS・バックモニターなど)
2. 大型防除機のキャビン化



シェア向上

海外市場

東南アジア展開のための体制構築



将来に向けた海外進出促進

- 市場競争力のある新製品の開発・投入
- 海外進出による販売・生産の拡大

国内市場

マルチシリーズラインナップの充実および非常用ディーゼル発電機の拡販



シェア向上

海外市場

米国市場への再参入

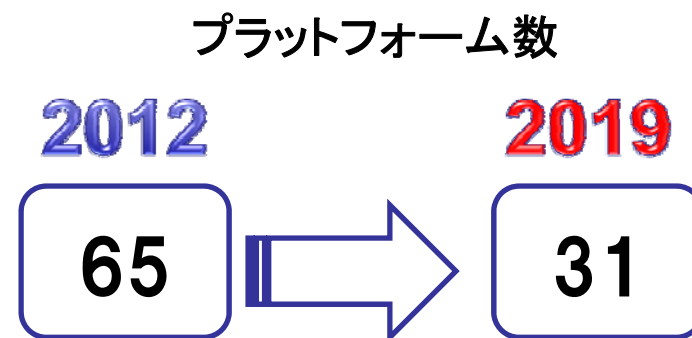


海外展開の強化

エンジンプラットフォームの統合

- グローバルエンジンの開発、製品化
- 2015年より順次、集約化を促進

2015年	3エンジン4機種
2016年	3エンジン10機種
2017年	2エンジン6機種
合計	8種類のエンジンで20機種の新製品を市場投入予定



生産効率向上とコスト削減の推進

- エンジンブロック自動組立ライン新設
- 完成検査運転装置の導入
- 為替ポジションによる生産製品の再配置
- ベトナム発電体工場稼働

新基幹システムの導入

- 販売・物流システム導入
(2015年度稼働予定)
※会計・生産システム導入済

バッテリー製品



ソーラーシェアリング

農業と再生可能エネルギーの両立



資料引用「一般社団法人ソーラーシェアリング協会資料」

中期経営計画2017年次推移



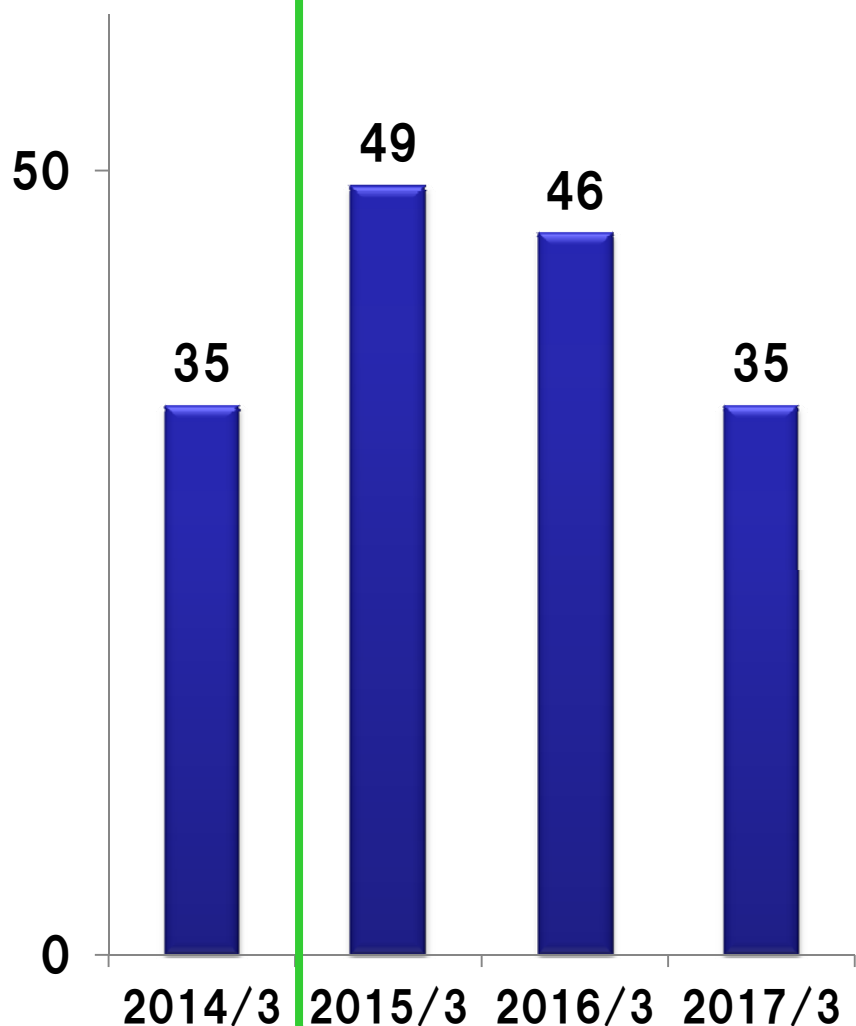
基本三事業の拡大
強固な経営基盤の構築

世界水準の競争力を有する
企業構造の確立

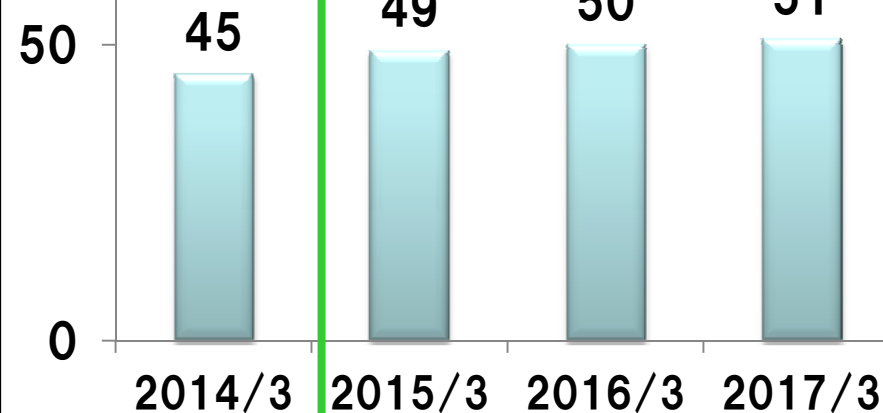


設備投資・研究開発費・減価償却費

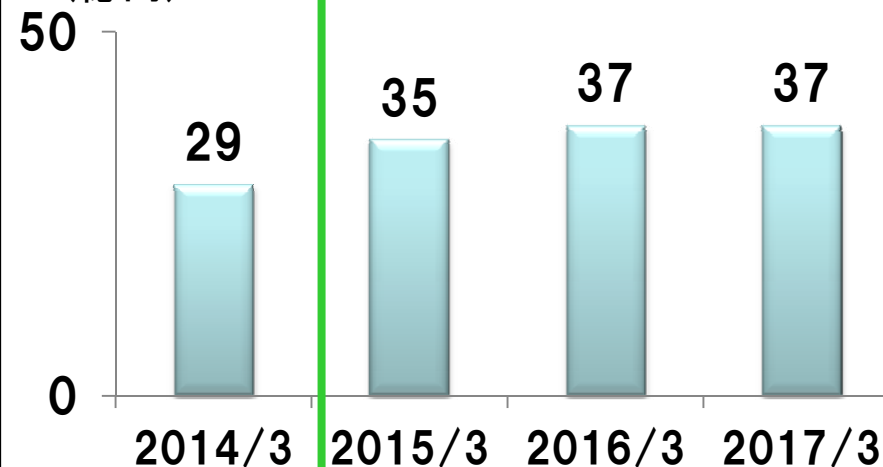
設備投資 (億円)



研究開発費 (億円)



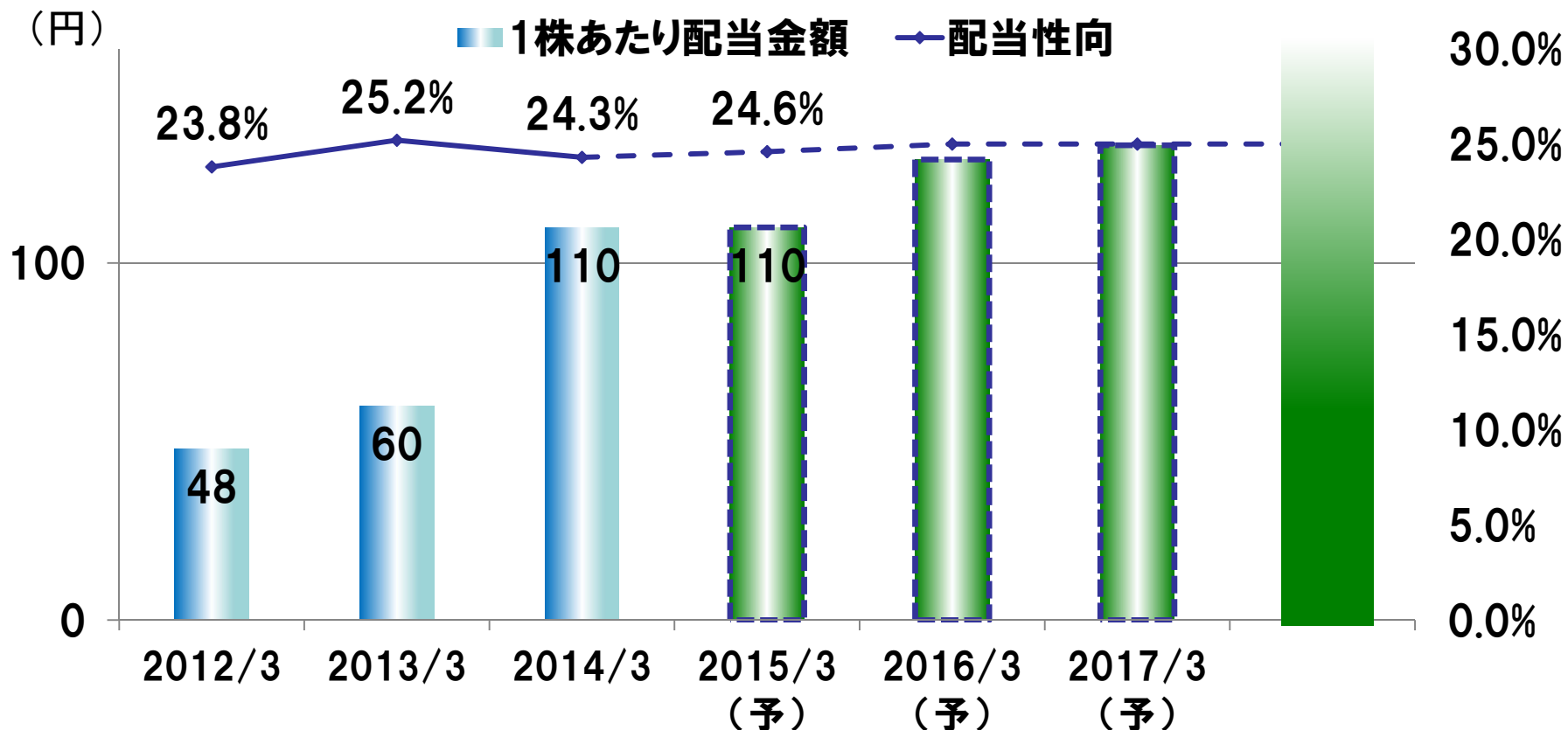
減価償却費 (億円)



株主還元の考え方

株主還元は配当を中心にする

- 安定配当の継続
- 配当性向25%を目安



人と自然と 未来をつなぐ

私たちやまびこグループは、事業の発展を通じて、
世界中の自然環境と、共に歩む全ての人の
美しい未来をつくる、そんな企業を目指します。

この資料には、当社の現在の計画や業績見通しなどが含まれております。それら将来の計画や予想数値などは、現在入手可能な情報をもとに、当社が計画・予測したものであります。実際の業績などは、今後の様々な条件・要素によりこの計画などとは異なる場合があります、この資料はその実現を確約したり、保証するものではありません。

【お問い合わせ先】

株式会社やまびこ

総務部株式IR課 神田・千原

〒198-8760 東京都青梅市末広町1-7-2
TEL :0428-32-6111 FAX: 0428-32-6143
e-mail:ir@yamabiko-corp.co.jp